



令和2年4月5日 役員一同お詣り

大牟田
荒尾
与論会だより

発行所
大牟田・荒尾地区与論会
発行人・朝岡光男
TEL 0944-56-7510

第128号

注意事項

お神酒を用意しております
『飲酒運転』はくれぐれもしないようにお願い致します

- 一、とき
- 一、ところ

7月6日の集中豪雨による洪水で、三川地区を中心に床上浸水により会員の方で、12件ほど被害にあわれています。心よりお見舞い申し上げます。与論町でも発生されてください。さて、左記のたします。

福岡県及び大牟田市並びに近隣市町村における新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、秋季大祭を中止する事にいたしました。皆様の安全確保と感染拡大防止を最優先に考え決定に至りました。ご理解いただきたくお願い申し上げます。

10時～12時

ウイルスは全国はもとより、います。感染には充分注意しておりますので、ご案内

令和2年
秋季大祭のお知らせ

与論会の動き

自 令和2年4月
至 令和2年8月

4月5日 奥都城春季大祭中止 役員のみ参拜

5月10日 奥都城清掃中止

6月21日 奥都城清掃6・15・16地区担当

7月5日 第43回大牟田・荒尾地区与論会定期総会

新型コロナウイルスの關係で時間短縮 三港与洲会館

7月12日 奥都城清掃中止

6日の大雨浸水災害被災地区担当の為

8月9日 奥都城清掃 13・14地区担当

13日 奥都城お盆10時〜12時開放

約100名お参り

清掃参加者名(敬称省略)

令和2年6月21日

朝岡光男・松井タエ子・益山憲一・出村進・竹昌宣

益山哲夫・黒田豊・先章太郎・川口幸雄・柳田勝範

赤瀬雅子・田畑正喜

令和2年8月9日

朝岡光男・兼屋ミサエ・兼屋祐季・竹内隆雄・竹内節子

田畑正喜・出村進・先章太郎・森整昭・砂川真佐江

益山哲夫・竹昌宣・益山憲一



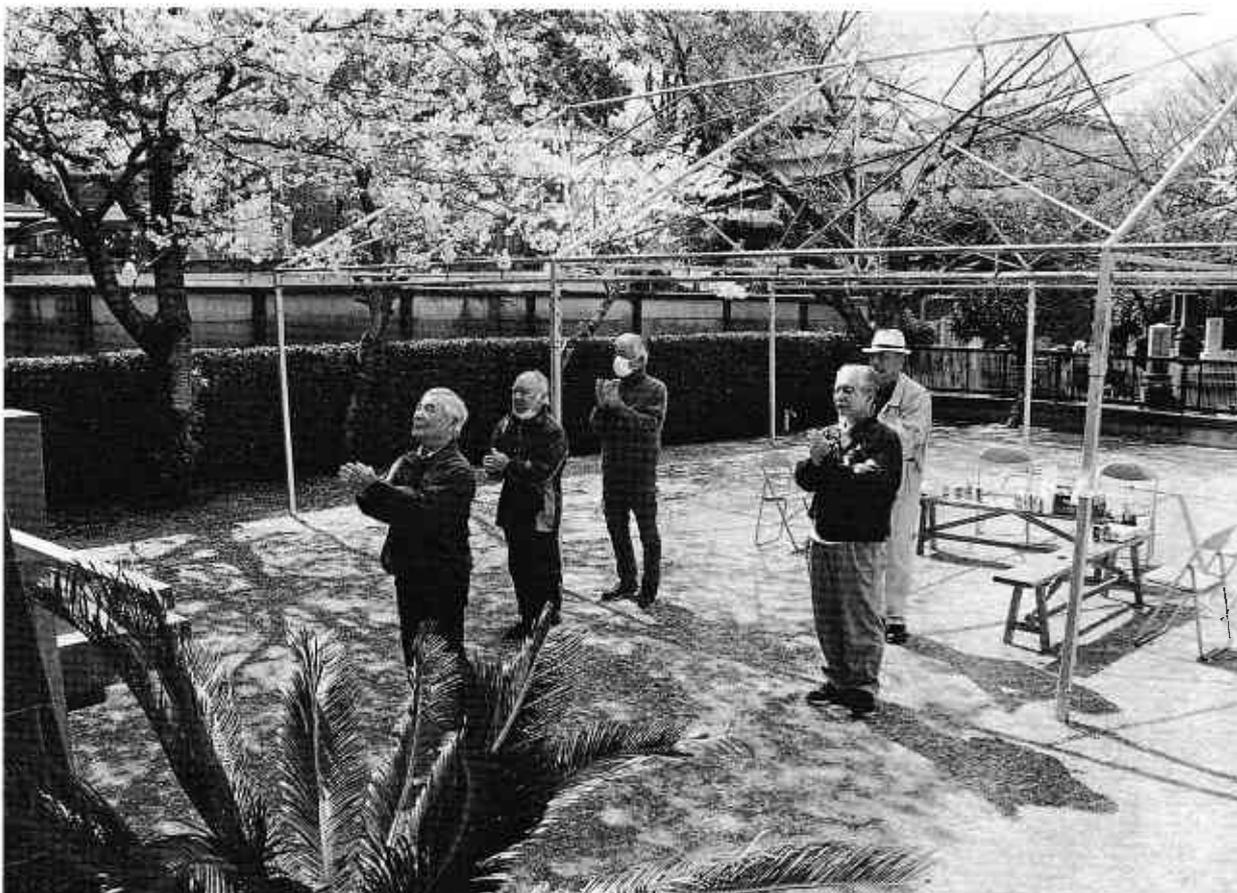
令和2年6月21日



令和2年8月9日

春季大祭

4月5日の春季大祭は、新型コロナウイルス自粛要請で急ぎよ中止になりましたが、奥都城は役員が出席して午前中開放。桜が満開でいいお花見日和でした。『残念』
与論会だよりに中止をお知らせしておりましたので、お見えになる方は少数でした



コロナの状況見て活動

与論会総会事業計画決まる

第44回大牟田・荒尾地区与論会定期総会が5日、大牟田市入船町の三港与洲会館で開かれ、2020年度の事業計画が決まった。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮しながら活動に当たる。

まず物故者に黙とう。朝岡光男会長は「新型コロナウイルスの影響がさまざまところに出ている。また会としても諸問題あり、皆さんの活発な議論を」とあいさつした。

令和元年度の経過報告、決算・監査報告があり、承認。続いて令和2年度の行事予定や予算案を審議して了承した。

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあるため、状況を見ながら事業を進めていく方針。また会員からは「次世代の育成も重要。若い人の加入促進を」などの意見もだされた。

7月10日 有明新報

今回の総会は新型コロナウイルスの影響で、受付にて非接触体温計、マスク、手の消毒液を確認して会に臨みました。

午前10時より始まり、司会者が時間短縮の為議事を進行し、懇親会も中止、約1時間で終わりました。

一部の方から、委任状にて予算案の渉外費と役員研修費を削除して借入金返済に充てるよう意見がありました。春の大祭が「中止」で今年度は増収が見込めるので予算内容については承認。また与論会だよりに有料の広告を掲載したらいかがだろうかとの

意見もありましたので、内容については役員会で検討し、決まり次第皆様にお知らせします。

総会の詳細については次ページにてご報告致します。



朝岡光男会長(写真右側)
司会の益山憲一さん



参加者の皆さん

令和元年 物故者のお名前 敬称省略

12月27日	12月5日	10月30日	10月26日	10月14日	10月3日	10月3日	8月26日	7月19日	7月4日	5月5日	4月24日	4月14日	2月6日	1月13日	1月7日	月日
松井善男	堀ケイ子	大田律子	山下ハル	福ハナ	吉田トシエ	山ハルエ	原田節子	有清二	川畑辰榮	濱田豊美	山元好文	黒田速雄	仲野マツノ	松井ウト	下川忠範	故人
79	92	75	93	98	91	96	85	64	78	57	68	78	95	89	89	年齢
松井勇治	堀榮吉	高根幸子	山下義明	鬼塚良子	吉田高行	山和徳	原田隆一	有郭子	川畑幸雄	濱田浩昭	山元美雪	黒田ノブ子	仲野拓美	松井武男	下川博子	喪主
大牟田市勝立233-4	大牟田市南船津町1-2-8	玉名市月田1278	大牟田市天領町3-3-2	大牟田市船津町1-7-10	大牟田市白銀673-1	大牟田市住吉町1-6	久留米市野伏間1-2-23	荒尾市万田387-56	大牟田市上屋敷町1-12-2	大牟田市馬場町230-2	荒尾市野原593-16	堺市津久野町1-8-6	荒尾市桜山町2丁目13-19	大牟田市三池388-2	大牟田市今山2466	住所

大牟田・荒尾地区与論会 令和元年度決算書

(収入)

令和元年6月～令和2年5月

費目	予算	決算	内容
繰越金	272,971	272,971	前年度繰越金
与論会年会費	1,100,000	837,000	与論会年会費
寄付金	150,000	158,000	別紙参照
貯金利子	100	2	郵貯金利息
雑収入	10,000	412,000	(奥都城建設資金より40万円借用)・購読料
合計	1,533,071	1,679,973	

(支出)

費目	予算	決算	内容
会議費	50,000	48,118	総会費用
祭典費	250,000	183,454	春・秋大祭 正月・お盆お詣り
共済費	150,000	120,000	物故者名簿参照
渉外費	400,000	222,677	別紙参照
機関紙費	300,000	273,100	与論会だより発行(年3回発行)
事務通信費	80,000	82,541	与論会だより郵送、事務用品、文具代
奥都城維持費	50,000	67,542	電気、水道、
与洲会館費	50,000	112,779	電気、水道、会館工事費(40,850円)
公園使用料	65,000	63,889	奥都城借地代
清掃費	30,000	59,859	奥都城清掃茶菓子代
役員研修費	100,000	88,000	役員慰労会(会場清風荘16名参加)
青年部費	0	0	
故郷芸能継承費	0	0	
備品費	0	0	
予備費	8,071	358,014	(建設資金に40万円返却しなければいけない)
合計	1,533,071	1,679,973	

令和元年度寄贈者名 (敬称省略)

令和元年6月1日～令和2年5月31日

金銭寄贈者名			物品寄贈者名			
月日	金額	お名前	月日	お名前	品物	数量
7月27日	5,000	山元美雪	8月13日	朝岡光男	焼酎	1本
8月13日	10,000	濱田浩昭		仲野装業	焼酎	1本
	3,000	堀泰博		竹内一徳	焼酎	1本
	3,000	仲野美子	9月15日	有郭子	清酒	2本
	2,000	野田修三		白雲社	清酒	2本
9月15日	12,000	目原・河村・三砂・林		仲野装業	焼酎	2本
	10,000	白雲社		熊谷博子	焼酎	2本
	10,000	山元美雪		基珠貴	焼酎	1本
	10,000	川畑幸雄		朝岡光男	焼酎	1本
	5,000	(有)山運		堀恵子	ビール	1箱
	5,000	ひまわりの会		山元美雪	ビール	1箱
	5,000	福弘光	1月3日	出村信雄	泡盛	3本
	5,000	猿渡恵一郎		市川初美	清酒	1本
	5,000	沖克太郎		町花華・美奈実	清酒	1本
	3,000	堀泰博		仲野装業	焼酎	1本
	3,000	竹稔範		山元信幸	焼酎	1本
	3,000	部落解放同盟大牟田支部		川口康則	焼酎700 ^{ml}	2本
	2,000	林清正	4月6日	仲野装業	焼酎	1本
	2,000	大田真佐子				
	2,000	野口峰達				
	2,000	基珠貴				
	2,000	松尾タツエ				
	1,000	永吉守				
11月10日	10,000	鬼塚良子				
12月14日	20,000	堀榮吉				
1月3日	3,000	野口峰達				
	3,000	西脇健一				
	3,000	堀泰博				
	2,000	竹稔範				
3月17日	2,000	林清正				
4月15日	2,000	黒田ノブ子				
5月11日	3,000	嵐山清次				
合計	158,000	円				

渉外費詳細

科目	内 容	支 出	累 計
旅費	与論町落成式出席旅費	55,580	
	与論町落成式祝儀代	20,000	
	与論町落成式会費	2,000	77,580
夏祭り	夏祭り総踊り参加費	4,000	
	夏祭り総踊り飲食代	34,479	
	ハッピー・クリーニング	10,800	49,279
その他	与論民俗村表彰広告料	11,340	
	与論サンゴ祭協賛金	10,216	
	駛馬天満宮鸞替	9,891	
	有明新報社挨拶	1,901	
	有明新報購読料	2,470	
	全国与論会会費	20,000	
	川口哲治様見舞い	10,000	
	三川坑慰霊碑建立会へ寄付	30,000	95,818
合 計			222,677

会計監査報告

2019年度(令和元年度)歳入・歳出の決算は、関係書類(預金通帳、現金出納簿、領収証等)により、照合検査を行った結果、適正な事務処理がなされており、決算の内容については相違ないことを認めます。

借入金(建設資金より)	40万0000円
与論会現金及び預金	35万8014円
実質金額	▲4万1986円

奥都城建設剰余金 1642万4450円
(奥都城建設剰余金より与論会へ40万円貸付ける)

令和2年 6月7日

監査

森 光 廣



森 亮子



令和2年度予算書

(収入)

令和2年6月～令和3年5月

費目	予算	内容
繰越金	-41,986	前年度繰越金
与論会年会費	1,300,000	与論会年会費
寄付金	200,000	春祭り150,000 秋祭り50,000
貯金利子	100	郵貯金利息
雑収入	10,000	購読料
合計	1,468,114	

(支出)

費目	予算	内容
会議費	50,000	総会・各種会議
祭典費	250,000	新年・春・夏・秋祭典
共済費	100,000	会員慶弔費
渉外費	300,000	全国与論会出席旅費・会費他
機関紙費	300,000	与論会だより発行(年3回発行)
事務通信費	80,000	与論会だより郵送・事務文具代他
奥都城維持費	50,000	電気、水道他維持費
与洲会館費	50,000	電気、水道他維持費
公園使用料	65,000	奥都城借地代
清掃費	50,000	奥都城清掃茶菓子代
役員研修費	100,000	役員慰労会
青年部費	0	
故郷芸能継承費	0	
備品費	0	
予備費	73,114	
合計	1,468,114	

奥都城お盆参り

8月13日「大牟田・荒尾地区与論会」恒例の奥都城お盆参りを行い午前10時より開放。三密を避けお参りをし、早々と奥都城を後にされたご家族が多く、約100名の方々にお越しいただきました。

入口では体温測定や手の消毒液噴霧、マスク着用をお願いし、お子様にはお菓子を用意記帳していただき、お参りをさせていただきました。

秋季大祭は9月20日(日)に予定しておりますが、このままですと新型コロナウイルスの終息兆しは見え、懸念しております。



竹昌宣さんの祝詞で役員一同参拝

水害報告

義援金・ただいま受付中

筑後地区南部において、令和2年7月6日の15時に線状降水帯が発生、大牟田市内では18時までに250ミリの観測史上最大の豪雨を記録、深夜まで雨が続き、翌朝雨は止んだが、諏訪川以南の「排水を担う三川ポンプ場」内へ6日20時すぎ浸水があり、配電盤迄水が浸入し、水中ポンプの運転を停止、その後、すべての設備が水没し使用不能となった。

三川地区は8日迄3日間水没、国交省のポンプ車や業者の仮設ポンプにて浸水解消、避難場所の三川地区公民館や、みなど小学校も1階は水没、7日早朝より救助、文化会館に再度避難する。

大牟田市内は各地で冠水、床上浸水したが各地区の排水ポンプ場が機能。田隈地区は大牟田青果場をはじめJR銀水駅一帯冠水。高速度路南関インターに向かう上内峠もがけ崩れで通行止め。東新町「ショッピングセンターゆめタウン」前の国道も冠水で放置車両が多く渋滞。小浜地区も「スーパー・トライアル」付近は腰まで冠水。新栄町は明治郵便局が冠水、病院をはじめ付近一帯は水没、市内全域が被災にあっております。

また、荒尾地区は諏訪川上流の関川が氾濫、河川流域の南関・賢木・庄山・下井手・倉掛・臼井・馬込方面浸水被害。各地区は雨が上ると水も引き初め、三川地区だけがいつまでも水没しました。

地元紙による問題点が指摘されておりましたので引用掲載します。

『西日本新聞の記事』

大規模冠水し、高齢者2人が亡くなった福岡県大牟田市三川地区の排水機能を担う三川ポンプ場が、現在の国の排水能力基準を満たしていなかったことが9日判明した。結果的に豪雨に対応できず、市企業局は「想定が甘かった」と陳謝。ポンプ場への浸水を止める防水壁整備など、可能な対策を早急に検討するとしている。

企業局によると、同ポンプ場は1963年に設置後、改修や増強をしながら現在ダイーゼルポンプ3台、電動ポンプ9台の計12台が稼働。国の基準では時間雨量64ミリに対応する能力が求められているが、現状では12台の能力は40ミリ程度しかなかった。同局はそれでも「70ミリ超の雨でも故障なく対応できていた」という。

地区住民から2017年に豪雨対策の要望が出された際も、排水路改修などで改善したとしている。ただ今回は、6日午後3時から3時間で252ミリの「経験したことのない雨量」（企業局）を観測。作業員5人は午後8時15分ごろ、故障を避けるために電動ポンプを停止。水量は作業員の腰の高さまで達し、15分後には全12台が水没したという。

局部的豪雨が近年頻発する中、手だてはなかったのか。企業局は「抜本的に能力を上げるには数十億円が必要。限られた予算で他地区との優先順位を付けて整備してきた」という。

ポンプ場には9日、住民が訪れ「これは人災だ」と詰め寄る場面も。企業局は水没を受け「抜本的な対策も早急に検討したい」としている。

現在も避難している会員もおります、元通りにはならないが通常の生活ができるよう、応援をお願いします。



7月7日午前8時 国道389号 祇園橋より南(県境)方面を望む
 左白雲社三川斎場・右セブン 中央の車両は前日屋根が見えなかった



左側白金地区・右側三川地区、浸水が諏訪川をはさんでよく分かる。



夢タウン前



大津クリニック



みなと小学校上空

写真・中央 下段はネット引用

与論島旅日記

大牟田・荒尾地区与論会会長 朝岡光男

今回、新型コロナウイルス感染がまだ全国に蔓延する前、3月6日から10日までの4泊5日の滞在。今回の与論訪問の目的は、親の元気なうちの墓じまいとヨロンマラソン参加でしたが、マラソンは、コロナ拡大防止の為に中止。墓じまいは滞りなく終了することが出来ました。その滞在期間中の旅日記を投稿させていただきます。

3月6日、車にて家内と鹿児島空港へ出発。

空港で、大阪から参加する妹と待ち合わせて3人での与論島訪問。

13時過ぎには、与論空港に到着。レンタカーを手配して早速墓じまいの為に手続きで与論町役場へ直行。この機会に我が家のルーツの探求しようと役場に残っている記録祖父・祖母また、高祖父・高祖母の戸籍を取寄せ、手続きが済み定宿としているイチウキ・ヴィラへチェックイン。茶花と茶花港の中間の道路沿いにあり宿の前は海岸。繁華街まで歩いて10分程度。また、以前新港町に住んでいた同級生の本さんが支配人で色々と気遣ってくれます。そして、家内の妹の所まで歩いて5分の所なので実家には泊まらずいつもここに宿を決めている所です。

3月7日は、私の父親の実家と家内の実家へのお参りと、ハキビナ墓地での両家の墓参り。夜は、海岸での食事会、1年ぶりの再会で親族との楽しいひとときを過ごすことが出来ました。



イチウキ・ヴィラ前の海岸にて
親族との食事会



宿泊先・イチウキ・ヴィラ



バルコニーからの風景

3月8日は、家内や妹たちとは別行動で、ルーツの探求にいざ出発。

父敏光の旧姓は川畑で城。また、朝岡家の実家も城で屋号がアーファーと祖父から聞いていた。当時の屋敷には、先祖が沖繩から持ち帰ったと言われる石が祭っており、何回となく島に行ったとき、はがみに行ったものである。「地方よみがえり伝説」著者中里喜昭氏の本の中で出てくる納山カメさんの父朝岡平安立と祖父朝岡恵登志とは従兄弟関係。アーファアの屋敷跡隣には、与論小学校発祥の地石碑が立っていました。

今回尋ねたところが祖母のじいちゃんと当たる人と戸籍簿で関係が有ることがわかり先方から貴重な家系図をいただく事ができました。



今まで、城をゆつくりと散策したことがなかった。なので今回は大変良い機会でした。城周辺を地図を頼りに散策。ヤゴの地下の湧水が出ている洞窟。上野應介翁の屋敷跡。



この湧水は、城集落の生活用水として使用されていました。
ヤゴの入り口

上野應介生誕の地

上野應介は、1854年安政元年10月23日、父富應の長男としてこの地に誕生。

氏は幼少の頃から勉学を好み、21歳の時民家を借りて学問所ナンカル学校を開き、自ら指導に当たった。

明治13年27歳で戸長に就任以来、校舎建設、海運事業、村医制の創設・警察官駐在所の設置、十五夜踊りのシニク祭りの復活等々と、島の発展の礎を築かれた後、自ら21年間の戸長職を辞し、口之津移住第3陣の団長として、島民に惜しまれながら口之津へ旅立たれた。

その後も口之津や大牟田で、「第2の与論建設」に尽力された。1916年大正五年5月25日、享年63歳大牟田市で病没。

應介翁の御霊は、奥洲奥都城に祭られていると聞いています。



上野應介翁屋敷入口



上野應介翁生誕の地

また、子孫の方は元良の名前を受け継がれているとの事でした。現在の与論小学校には、東元良翁が寄与された二宮金次郎の銅像があり今では、二宮金次郎の銅像・石像があるのは大変珍しい光景ではないでしょうか。ちなみに、大牟田市内では、大正小学校と上内小学校の二校にあります。

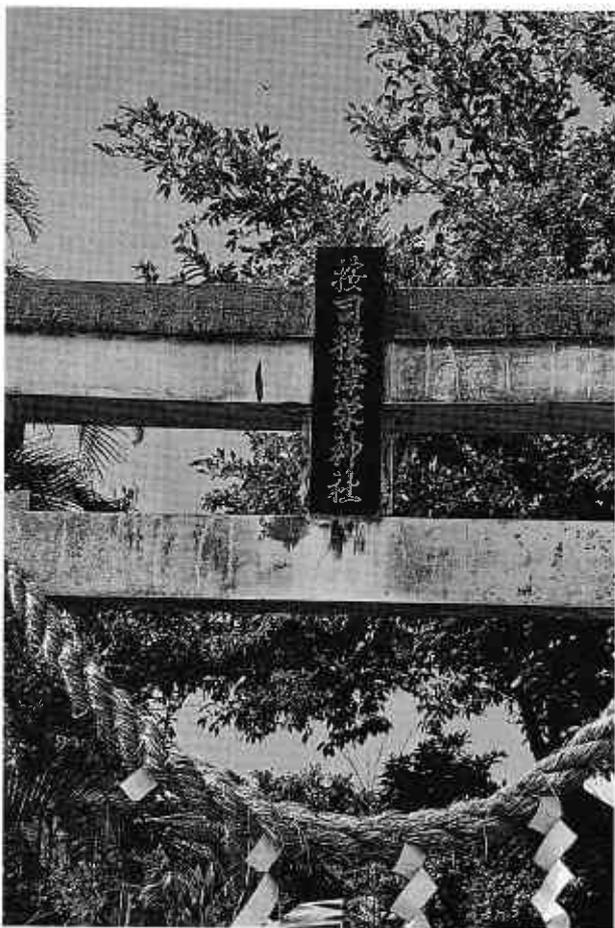


東元良翁石碑

上野應介翁の屋敷跡道を隔てたところに、東元良翁の子孫の方が住んでいる屋敷があり、永年にわたる翁の労苦に感謝し、翁の偉業を永く讃えんとして三池在住与論村出身者一同が寄贈された頌徳碑を見させていただきました。



昭和10年8月 東元良翁送別記念(西港町講堂前) 口之津移住百年祭記念誌より



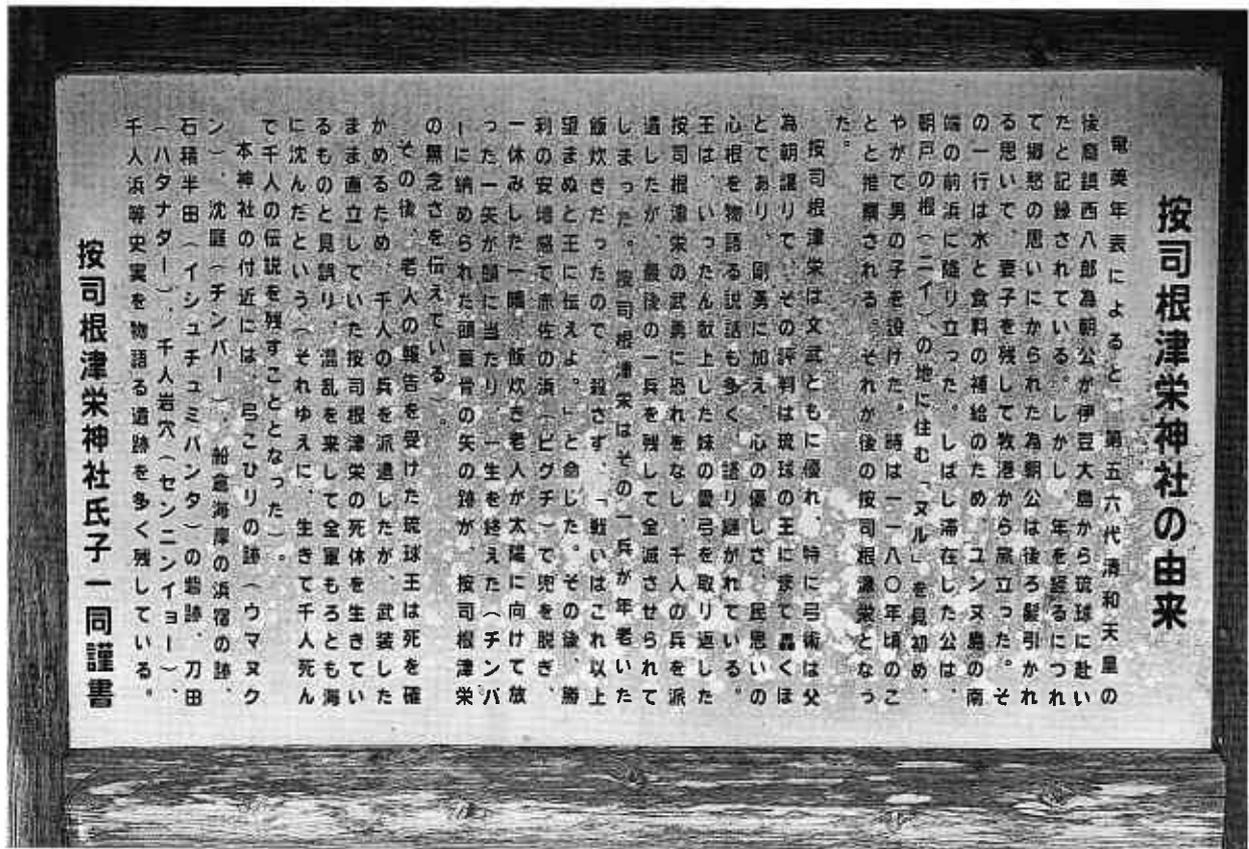
按司根津栄神社



与論小学校に設置してある二宮金次郎像



更に、足を延ばして朝戸地区へ与論小学校の近くには、按司根津栄神社がありました。ヨロシ島観光ガイドにも紹介されますが、歴史を訪ねて散策するのルーツを知る上で大変興味深いものがあります。



按司根津栄神社の由来



与論から口之津移住のコーナー

按司根津栄神社の由来

寛英年表によると、第五十六代清和天皇の
後裔西八郎為朝公が伊豆大島から琉球に赴い
たと記録されている。しかし、年を遡るにつれ
て細意の思いにかられた為朝公は後裔引かれ
る思いで、妻子を残して敦煌から戻った。そ
の一行は水と食料の補給のため、ユンヌ島の南
端の前浜に降り立った。しばし滞在した公は、
明戸の根(ニイ)の地に住む「ヌル」を見初め
やがて男の子を授けた。時は一一八〇年頃のこと
と推察される。それが後の按司根津栄となっ
た。

按司根津栄は文武ともに優れ、特に弓術は父
為朝譲りて、その評判は琉球の王にまで轟くほ
どであり、剛勇に加え、心の優しさを、屋敷の
心根を物語る説話も多く、語り廻がれている。
王は、いったん献上した妹の豊弓を取り返した
按司根津栄の武勇に恐れをなし、千人の兵を派
遣したが、最後の一兵を残して全滅させられて
しまった。按司根津栄はその一兵が年老いた
飯炊きだったので、殺さず、「戦いはこれ以上
望まぬと王に伝えよ。」と命じた。その後、勝
利の安堵感で赤佐の浜(ビグチ)で兜を脱ぎ、
一休みした一瞬、飯炊き老人が太陽に向けて放
った一矢が頭に当たり、一生を終えた。チンバ
ーに納められた頭蓋骨の矢の跡が、按司根津栄
の無念さを伝えている。

その後、老人の報告を受けた琉球王は死を確
かめるため、千人の兵を派遣したが、武装した
まま直立していた按司根津栄の死体を生きてい
るものと見誤り、混乱を来して全軍もろとも海
に沈んだという(それゆえに、生きて千人死んで
千人の伝説を残すこととなった)。
本神社の付近には、居こひりの跡(ウマヌク
ン)、沈雁(チンバー)、船倉海岸の浜宿の跡、
石積半田(イシユチユミハンタ)の跡、刀田
(ハタナター)、千人岩穴(センニンイヨー)、
千人浜等史実を物語る遺跡を多く残している。

按司根津栄神社氏子一同謹書

琴平神社内にあるサザンクロスセンターに足を運んでみました。
こちらでは、与論の歴史・文化。暮らし・自然・祭り等々パネル
で紹介してあります。



海謝美コーナー

与論に帰るたびに参加する海謝美コーナーも設けてありました。海謝美は、海岸清掃をしているボランティアグループで毎朝6時半に「ゆんぬふとうば」でラジオ体操をして、1時間ほど清掃活動をしています。1ヶ月から1か月半で島を一周していきます。

朝6時30分からの海岸でのゴミ拾いに参加してきました。浮きた。球や外国文字が入ったペットボトルなど多くの漂流物が砂浜に漂着していました。砂浜は、与論の大事な観光の宝

今回も、



清掃活動終了後の笑顔の仲間たち



大牟田・荒尾地区与論会石碑

更に琴平神社内を散策して居ましたら、大牟田・荒尾地区与論会の記念碑を見つけました。



訪問団集合写真

3月9日、墓じまい当日。晴天の中早朝から準備を行い祭典を滞りなくおこないました。



墓じまい神官のお祓い



遺骨を納めてあるかめの掘り起こし

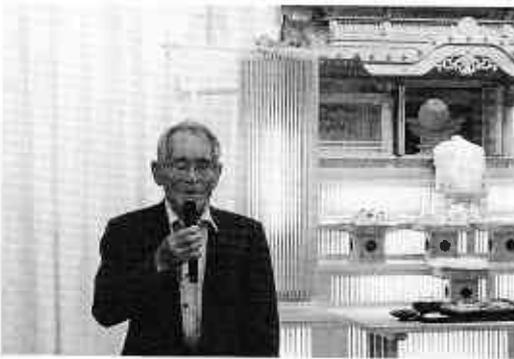


台風などで流されたりして5柱の遺骨は少ししかありませんでした



火葬場にて再火葬を行い一つの骨壺に収めました

式の終了後家内と妹3人で、ご先祖の最後の与論風景の見納めとしてゆかりのある地を回りながら島一周し、親元の方達に来ていただいた最後の食事を行いました。



親元を代表して挨拶と、空港まで見送りに来ていただきました。





大牟田納骨



与論離陸



田尻神官による納骨お祓い

3月10日、ご先祖をともして与論の地を離れ子孫が待つ大牟田の地へ出発。

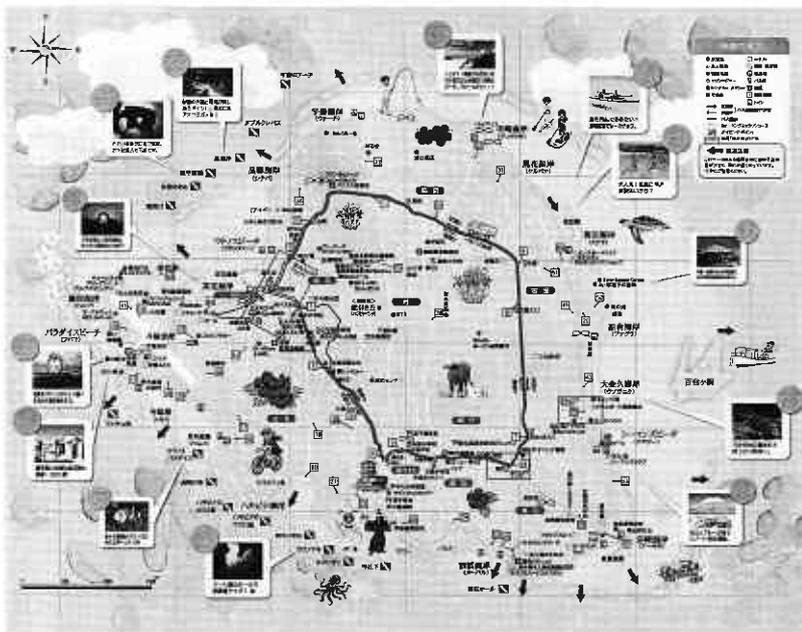
田尻神官様のお祓いを
受け、無事納骨を完了。
13柱の先祖の方々が一つ
の所で祭ることが出来る
ようになり我が家の島で
の墓じまいが無事終了い
たしました。母親もこれ
で一安心だと思っております。
長々とりましたが、与論島旅日記を終わ
ります。

とうとがなし

ご案内

先祖が育んだ地を忘れないために、還暦を迎えてから毎年開催される「ヨロンマラソン」のハーフの部に参加しています。21キロを4時間30分以上かけて歩いて休息所で飲食物を補給しながら完走しています。

来年は、令和3年3月7日(日曜日)開催予定です。ハーフの部で島一周です。海を眺めながらリフレッシュ一緒に参加しませんか。



ヨロンマラソン案内地図

与論町

ふるさと留学制度



文武両道、
一人一人の進路実現に全力投球

活気あふれる鹿児島県最南端の島で、大切にされてきた伝統や文化、豊かな自然環境のもと、活気あふれる与論島であなたの夢を見つけ羽ばたかせませんか。

親子留学

自ら住宅を確保し、与論島で親子生活しながら通学します。

親戚・孫留学

与論島在住の親戚、祖父母の家で生活をともにしながら通学します。

補助制度

与論町ふるさと留学生制度助成事業補助金より、生活補助・家賃補助・帰省補助金があります。

与論島で学ぶとは・・・

与論島ならではの 環境・体験

海に囲まれた大自然の中、与論島の伝統文化・行事を体験したり、感じたりすることができる生活環境です。

海洋教育

日本財団からの支援を受け海洋教育パイオニアスクールを導入。町内の小・中・高等学校が連携して海を通じた学びの活動を行っています。

中高一貫教育

与論中学校との相互乗り入れ授業をはじめ、合同進路講演会、部活動や練習試合、イベントなど、中高一貫教育校として様々な活動に取り組んでいます。

与論町教育委員会

〒891-9301

鹿児島県大島郡与論町茶花1418番地1

TEL:0997-97-2441

ふるさと留学に関する情報は与論町 教育委員会HPからご覧いただけます。

[与論町ふるさと留学](#)

[検索](#)

ふるさと留学×先輩の声

与論高校2年Sさん

(令和2年4月時点)

2018年度から与論中学校のふるさと留学生として、与論島生活をスタート。彼女が与論島を選んだきっかけは、与論島への家族旅行でした。



与論高校2年Hさん

(令和2年4月時点)

中学生2年生の頃、自分の周りで実際に自然が少なくなっていくのを感じ、違和感を感じるのと同時に自然豊かな場所で過ごしたいと感じるようになりました。知り合いの方に留学制度があるのを教えてもらったのがきっかけで、与論島を知ることになり、飛行機から初めてみた与論島の姿に感動し、ここに留学しようと決めました。



与論高校を選んだ理由はなんですか？

直感です！

「ふるさと留学制度」は、中学校2年生の時、与論島への家族旅行で島を案内して下さった方に聞いて知りました。

中学校2年の夏に、与論中学校での体験留学を経験後、中学3年2学期から与論中学校へ転入しました。

今夢中になっている事はなんですか？

水彩画です。アプリを使って水彩画イラストを描いています。高校では美術部に所属していますが、水彩画はプライベートの時間で楽しみながらやっています。学校の授業も美術の時間が一番好きです。砂絵、油絵やTシャツ、仮面作りなど幅広い内容を楽しんでいます。

与論島で好きなスポットはどこですか？

皆田海岸、茶花海岸、コースタル・リゾートです。海をみてぼーっとしたり、友達と話したりしています。高校の文化祭の練習などでも、みんなが使っている場所です。

ふるさと留学希望者へ、メッセージをお願いします。

来たいと思ったら、迷わず直感にしたがってチャレンジして下さい。高校の先生方はとてもやさしいですよ。

与論高校での学校生活を教えてください。

先生方と生徒の距離感が近く、学校の行事なども一緒に取り組んでいるのがとてもいいと思います。生徒同士も、現状に満足するのではなく上を目指して頑張っている人が多く、その雰囲気も学年、学校全体に広がっています。勉強だけでなく部活動も一生懸命取り組んでいる人が多いです。みんな個性があって、その個性を尊重していると思います。

今夢中になっている事はなんですか？

里親さんが飼っている牛が出産を控えています。その出産を見ることです。目の前で命が誕生するのを見る機会はないので、とても楽しみにしています。

それ以外にも海で泳いだり、漁、観光業の手伝いをする中、与論島に遊びに来ている観光の方と会話する事も楽しんでいます。ゆっくり海を眺めているだけでも気分が落ち着くので、海は大好きです。

ふるさと留学ならではの学びを教えてください。

直接伝えるのは恥ずかしくて言えてませんが、離れて暮らしてみてもサポートしてくれる親に改めて感謝したいなど感じている事です。また、与論島に来てからは、島での生活を応援してくれる方、自分が失敗した時に助けてくれる方には本当に感謝しています。自分もそうやって助けを必要としている人に手を差し伸べることのできる人になりたいと思うようになりました。

ふるさと留学希望者へ、メッセージをお願いします。

不安な事もあると思いますが、チャレンジしたいという気持ちがあれば挑戦してみてください。

最初はもちろん緊張しますが、笑顔で挨拶、新しい場所でも人と関わってほしいと思って話をすれば大丈夫ですよ。与論島に来たら色々な場所、お店に行ってお店の人との出会いを楽しんで下さい。

与論高校×海洋教育

与論高校課題研究発表会

(令和2年2月開催)



与論高校課題研究発表会
(ポスターセッション・パネルディスカッション)
1年生：与論島
2年生：与論島の人々について、成果本発行

第7回全国海洋教育サミット

(令和2年2月開催)



第7回全国海洋教育サミット
与論高校から2チームポスター発表に参加
参加チームが優秀賞を受賞